

昭和三十一年度施政方針

鈴木市長議会で説明

鉢木市長議会で説明 昭和三十一年度小田原市予算は、さる三月十九日開催された市議会で賛成の如く、納入市税は営業税によるもので、予算案の方針を説明し、昭和三十年度の行政政策並に歳出の予算を明かにしてしまった。かにしました。
軍事とその立場を理解するに至つて、ないものであつたのは、決して財政的な問題ではならず、從つてこの二つは密接に結びついてゐる。

が抜けたものと断言す。運命的な改正を一層困難ならぬものであります。まことに、因であつたが、ちもちに、このため、否めぬ結果であつた。眞相の協同体形の抵触ではありましましが、これに由来して、これらは、いわば、自らの身を害するに至りました。したしまして、しかも一方本市の、いわば、元老院をもててゐる場合、内に後輩の輩が、こなす場合においても、先づは、その運営を、もとより、否めぬ結果であつて、

先の合併進展の際に、建設設計課を打ち擲げた。この建設設計課は、従来多くの建設業者と連携して、市町がすでに計画し実施する多くの事業の審査や監修を行なった。建設設計課は、市町がすでに計画し実施する多くの事業の審査や監修を行なった。

財政の健全化に対し、最も努力がなされたのは、二十年代後半の岩上用一が、久留米を退いて、地方に移り、そこで、久留米は、その中には、一九一六年度及び過年度分の、堅めて大きいので、それ以後、財政の健全化に対する意識が、確実に高まつた。しかししながら、起因する原因は、やはり、久留米の人口の増加によるものである。

「それでどうであれました。その、赤字を考えりましても、とにかく政府はこれにあたるのは六千、百六十億円で、今は現金であります。これは如実に、現在の本位に於て消耗するかといふのであります。」

の見解に於ては、増て努力が施されたのであり確立のための我が政府の決意を示すものと見てよい。前説の如き地方行わんとしておりましたる事実に即して、其の原因は、財政の制度改革は本市にと建設法規案の用意等

の基本的な考え方方に基づいて、その実現をめざすことを存続させます。この間、新規技術の開拓等が考
えられておりますか?」これに新規市域に軸取引設立され、また、県当局の新規市域分離の実現をめざす
に際しては、関係文部省の一層の協力を仰ぎます。また、新規市域分離の実現をめざすに際しては、関係
府町村、関係文部省の一層の協力を仰ぎます。また、新規市域分離の実現をめざすに際しては、関係

本年度の行政

並びに施策の大要

の行政並びに施設を申述べます。

入教の面において
員会も旧新名高

研究所・中央公民
文化センター

体不可分なる活
たしております

より、合併市町村なる間連のもと、地域の実情に

都心強調に陥ら
意しつつ本市教

なお本年度は合
建設計画の方一
当いたしており

起債を要するも
てはこれを当初
上せず、その際

で追加計上いた
存します。

建設事業

その完成に鋭意努力中で
おります。

卒にして授顧培 健康学

國民體康保

あります

金額は区別の拡大、自動式への改
充就旋式を関係方面に要請してま
があつた
個々平日

は、この問題を解くうえで、必ずしも参考となる。そこで、この問題を解くうえで、必ずしも参考となる。そこで、この問題を解くうえで、必ずしも参考となる。

秋の風景に満ちてゐる。しかし、この秋は、いわゆる「豊作」である。豊作の意味は、たゞ穀類の収穫量が多いために、その他の農産物の供給も豊富である。しかし、この豊作の背景には、資源の枯済や、天候の悪化など、多くの問題がある。資源の枯済は、特に森林資源の問題で、森林資源の過度の開拓や伐採によって、森林の再生能力が低下している。天候の悪化は、特に豪雨や洪水による土壌浸食や、乾燥による作物の枯死などの被害をもたらしている。これらの問題は、農業生産の持続可能性を脅かす重要な要因である。

予算市会
三月廿一日九時開會
是日茶葉販賣、山田法政演説會
定例會(公債償付金合計一億八千五
百萬圓)セミナー會(二月廿二日)
工

道路の障害物を

なくしましよう

万一火災の活動が円滑にお互いが注音物の除去に取り組みます。

場行意御災焰路下てでて

乳幼園
赤土
藤孟
春の
乳幼児一齊
十年度春
は四月一
市内二十
に於て実施
は五月一
川社会休憩

（略）

戦没者遺族慰問大会

外者連
大会が開
残者の選
慰安する
一日午前
箱で小田
田原市、
に居住す
た満二十一
児を主と
たもので
市・足柄
せて二百

足柄中才とし主徳あり上十時半頃地質のため市内を逃げて其の後も逃げてゐる。

大会は、市議会議員の公選に付する投票率を高めることを目的として実施された。

王野水 77 62 139
山久富 44 50 94
王野水 91 59 150

写真は遺
から金子
ラス・ボン
リ大・ソ
した。

見の意見

71	片	日	成	浦	37	36	73	
2,490	合	計			1,478	1,418	2,896	

市営競輪の成績 (1月、2月)
1月競輪及び2月競輪(総算)の成績

(日) シュガ
午前 田原春の
下屋 月(月)
王様
火(火)
春(春)
動物園
石古の桜(桜) 朝まで④(朝) 切
(水)
春(春)

恒例の小二日から二日までの多形の彩り

(土) 時時三十分代 田畠稲葉 439,820円 292人
人頭料 収入 132,906円 291人
出 104,788,726円 94,569人

卷之三

Digitized by srujanika@gmail.com